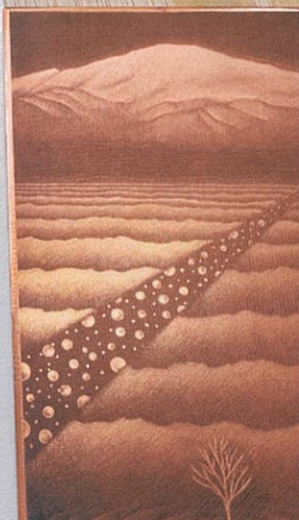
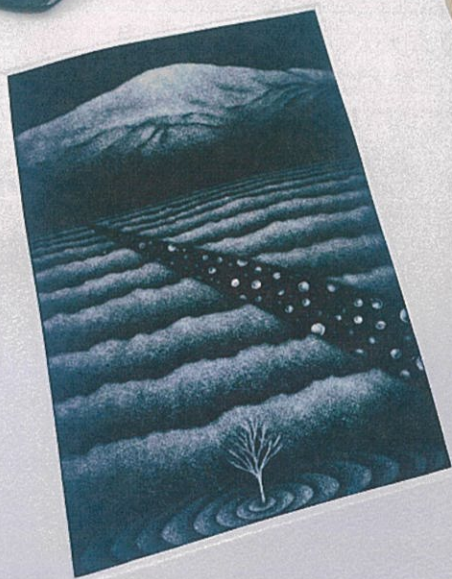




はじめての
銅版画講座



メゾチント技法で
つくる絵はがき

講師 大森弘之さん(版画家)



2025.10.25 SAT 13:00-16:30
所要時間 約3時間30分・単日開催

会場 まなびあテラス・講座室+アトリエ / 定員 6名 / 参加費 2,000円
申込方法 電話 ☎ 0237-53-0230 または 総合案内にて直接 [受付開始 9/15-]

お問合せ

東根市公益文化施設まなびあテラス
[東根市市民活動支援センター]
〒999-3730 山形県東根市中央南1-7-3
0237-53-0230 (直通)
info@manabiaterrace.jp

毎年開催する「銅版画講座」。今回は版画家・大森弘之さんから「メゾチント」技法を学びます。大森さんとともに、とっておきの絵はがきをつくりましょう。黒い面から白や灰のグラデーションをつかっていく工程を体験してみませんか？銅版画がはじめての方へもおすすめの講座です。

詳細は裏面へ



銅版画ってどんなもの？

金属の銅でできた板を使用し、いろいろな技法でつくった微細な凹凸をインクと紙・プレス機の圧力で刷りとることによって生まれるのが銅版画です。紙や木の板を使用する版画にくらべて、細かい線や点の描写、微細な表現が得意です。銅版をかりかりと削る作業は紙に絵を描く感触と似ていますが、プレス機にかけた時に思いもよらぬ風合いが写し出されるのが銅版画の持ち味です。

メゾチント技法ってなに？

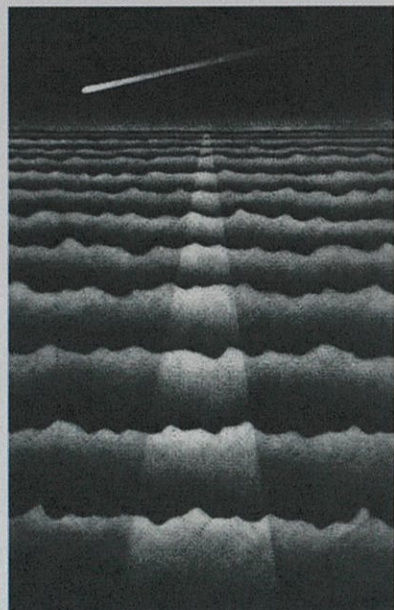
メゾチントは銅版に無数のまくれを均一につくり（目立て）、そのがさがさしたまくれの高さを削ることで描画していく技法です。目立てをほどこした表面はそのままインクを詰めてプレスすると真っ黒に。まくれを削るとインクの入り具合が調整され、灰色・白色の階調が生まれます。エッチングで表現できる線描やアクアチントであらわれる面の表現とも異なる、粒だった黒みはやわらかく触感的な印象です。この性質を生かしてゆたかな明暗や濃淡が表現できることが、メゾチント技法の特徴のひとつです。



mezzotint!

講師作品

右《The light has all the answers you need》2019年,170×115mm
左《The sound of a paddle》2021年,220×165mm
(いずれも技法：銅版画／メゾチントを用いた講師作品)



大森 弘之

講師紹介

OMORI
Hiroyuki

東北芸術工科大学にて銅版画家・若月公平氏のもと銅版画を学び、版画家として活動をつける。
作品は、自然から着想をえたモチーフに、メゾチント技法ならではのモノクロームの階調や対比を用いて、自然という普遍的な力の存在や内包する“美しさ”と“脅威”といった背反する多面性を表現している。

1991 茨城県北茨城市生まれ
2014 東北芸術工科大学 美術科 版画コース 卒業
2016 東北芸術工科大学大学院 芸術文化専攻
洋画研究領域 修士課程 修了
所属 一般社団法人日本版画協会 準会員
プリントザウルス国際版画交流協会 会員

パブリックコレクション▼
町田市立国際版画美術館、国立台湾美術館



会場 当館 講座室＋アトリエ
定員 6名 (小学5年～どなたでも)
料金 2,000円 (当日支払い)

当日必要なもの

- ・エプロン
 - ・縦12.5cm×横8cmで制作した下絵
- 下絵のモチーフは自由です。但し、線描の多い写実的な絵の場合、制作時間が多くなります。

申込方法 [受付開始 9/15(月・祝)~]

電話 ☎ 0237-53-0230

または 来館にて直接申込み

まなびあテラス主催の講座における料金は、東根市の文化推進のために参加費を一部助成しているため、通常講師が実施する際の内容・料金と異なる場合があります。/ 申込時に得た個人情報は、本講座運営の目的外で使用することはありません。/ 本講座は開催の様子を写真や動画で記録し、当館広報に使用場合があります。

東根市公益文化施設まなびあテラス
[東根市市民活動支援センター]
〒999-3730 山形県東根市中央南1-7-3
☎ 0237-53-0230 (直通)
✉ info@manabiaterace.jp

本講座・申込みについて